

平成26年 4月 4日
九州地方整備局



「道の駅」なかつ 新たに登録

～九州地方整備局管内では116箇所に～

「道の駅」は、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供及び地域の振興に寄与する事を目的とした施設です。

今回、九州地方整備局管内において、平成26年4月4日付けで新たに「道の駅」なかつが登録されましたのでお知らせします。

【新たに登録された「道の駅」】

おおいたけんなかつしおおあざかく

○なかつ：大分県中津市大字加来814番地

- 中津市の一般国道10号沿いに位置し、「ひと」「まち」「みち」「とき」をつなぐ駅をコンセプトに、①人が集うひろばや地産地消にこだわった物産館などによる人々の交流を促進する場、②市の魅力を広くアピールする情報発信の場、観光資源を伝える場、③地域の周辺道路の災害発生情報や道路規制情報、気象情報を提供する場、④地域の歴史や文化を伝える場としての役割を持つ施設です。
- 大分県では23番目の「道の駅」となります

【「道の駅」に関する問合せ】

- 問合せ先：国土交通省九州地方整備局道路部交通対策課

交通対策課長

やまだ たかのり
山田 隆則

交通対策課長補佐

いまざと ひでみ
今里 英美

- 電話番号：092-476-3534（交通対策課 直通）

「道の駅」なかつ

路線名：一般国道10号

所在地：おおいたけん なかつしおおあざかく
大分県中津市大字加来814番地

施設面積：約21,400m²

道の駅施設

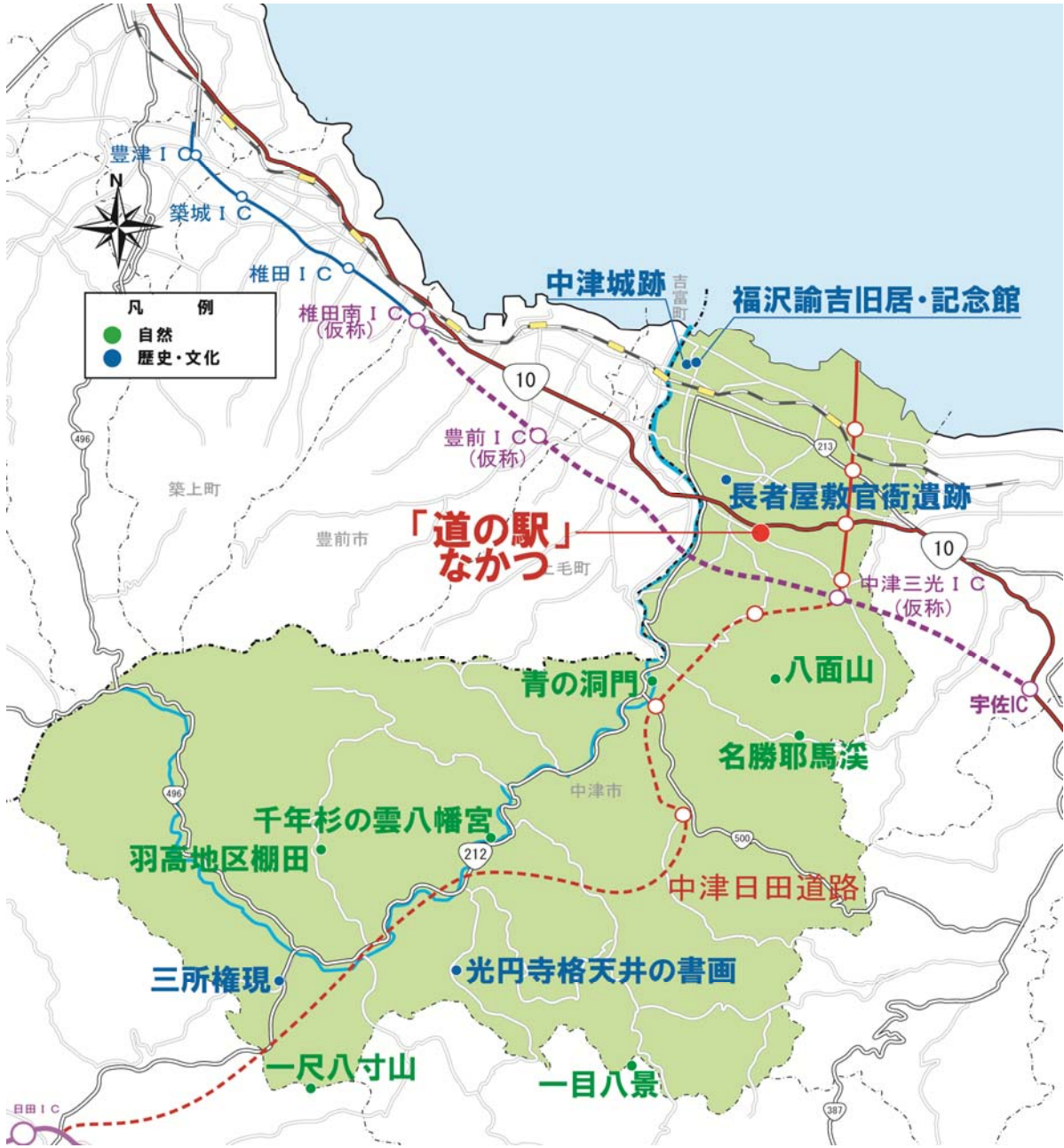
- ・休憩施設等：駐車場119台、公衆トイレ17基、公衆電話
- ・地域振興施設：物産館、レストラン、遺跡公園・防災公園
- ・情報提供施設：情報休憩室、専属案内人・無線LAN

※施設については現在整備中

位置図



「道の駅」なかつ 周辺平面図



イメージパース



道の駅「なかつ」 (大分県中津市)

地域経済

観光

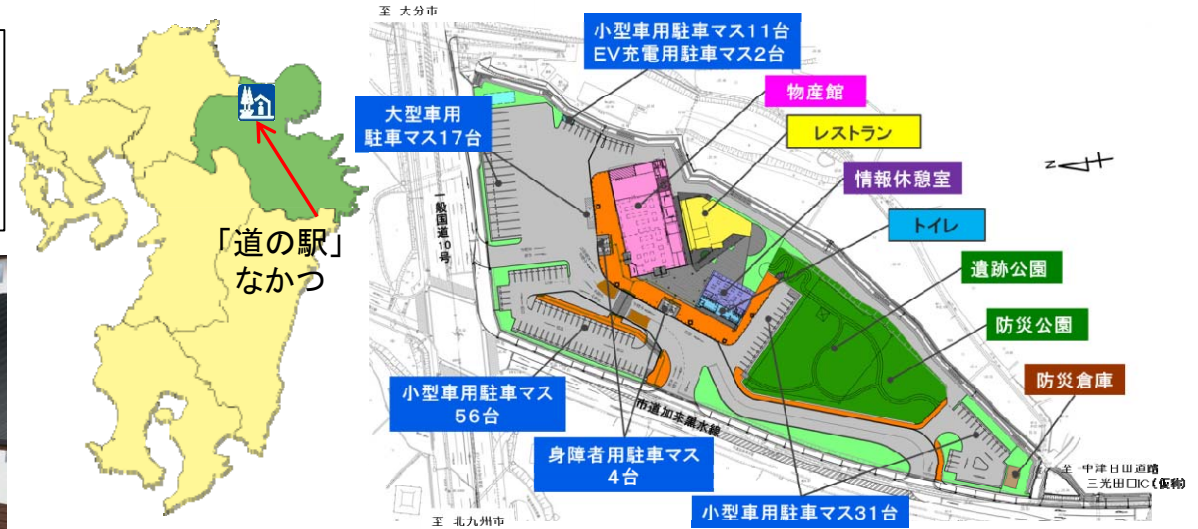
福祉

防災

文化

- 地産地消にこだわった、特産のハモ、唐揚げなどの味わえる場を提供
- 観光案内人を配置し、^{やばけい}耶馬溪や城下町中津へ誘導、「道の駅」周辺の古代遺跡へ誘導する、歴史・文化を伝える場

- 設置者：中津市
- 路線名：国道10号(大分河川国道事務所)
- 整備手法：単独型
- 全体面積：約21,400㎡



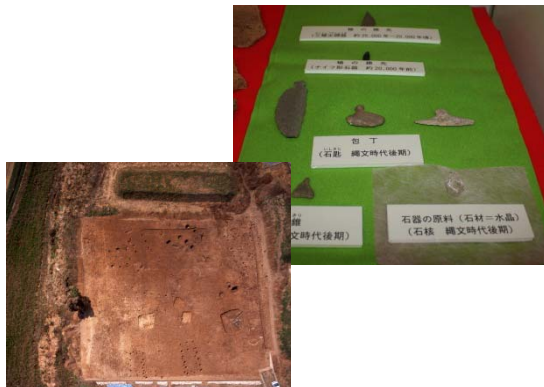
＜地域の課題＞

■市全体への周遊に課題



「からあげの聖地」として食文化を発信

■歴史・文化の発信力に課題



法垣遺跡をはじめとする遺跡群が存在

《具体的な整備メニュー・取組み》

- 中津市産の農水産物を販売する物産館
- 中津市のからあげをPRするからあげ店
- 特産品を提供するレストラン

- 道の駅区域内にある遺跡を活用した遺跡公園
- 出土品を展示する情報休憩室
- 周辺観光や歴史・文化を案内する専属案内人

- 誰でも容易に情報取得が出来るようFree-Wi-Fiを設置
- 大分県ビジョンに基づくEV充電器を設置
- 広域的な防災拠点となるよう防災機能を付加